

# お客さまの高齢化に備えましょう！

VOL.11



江端（佐治）ひとみ

## 超高齢社会において必要な学び

第11回は、前回ご紹介させていただきました広島、国元洋子先生のとどケアセラピストを取得され、国元先生とともに高齢者の皆様にケアをご提供されているイラストレーター 原玲子さんの活動についてご紹介いたします。

私がケアセラピストを目指したきっかけは実母でした。母は結婚、出産後からぎっくり腰が元で「すべり症」になり、腰や足の下半身にいつも痺れのある生活でした。50代半ばに手術したものの、痺れは取れることなく現在80代です。

そんな母は「自分のこの体の痛みや痺れは説明し切れないし自分にしか分からない」と言っていました。

私はそんな母と話したり、家事の手伝いをするだけで、体の痛みをとるのは「病院」と思っていました。そんな中、「シニア検定」、「ケアセラピスト」に出会い、私でも実際に体に触れることでその辛さや痛みに寄り添えるのではないかと思いました。

実際に学び始めると、専門的な理論学習や実践学習が多く、学べば学ぶほど人の身体に寄り添うということは、しっかりと知識と技術を持っていなければならない、と痛感しました。

そして、シニア検定、ケアセラピストを取得してからは、ご高齢者の身体や心の変化を身近なことだと感じるようになりました。この意識を持ち続けるためにも、実際にご高齢者施設などでケアをさせていただくことは大切なことだと思い、定期的に施設やご自宅へ訪

問ケアをさせていただいています。

お客様のご自宅ケアでは、その方の雰囲気や暮らし方も同時に伝わってきます。会話の内容も少しプライベートであり、タッチセラピーによる信頼関係の構築を感じたりします。

週に一度のケアですが、少なからずご高齢者の心や身体に良い変化が起きているのでは、と感じています。この活動を通じて、「身体」だけでなく、「心」の変化にも向き合えるようになったことを嬉しく思います。



高齢になることで起こる身体や心の変化、ケア方法について正しい知識がなければ、ケガをさせてしまったり、病状を悪化させる危険もあります。

長寿高齢社会において「シニア検定」、「ケアセラピスト」は特別ではなく、普通に身につけておくべき知識と技術だと思います。

そのことを常に意識して、継続学習を続け、多方面で活動していければと思っています。



イラストレーター  
原 玲子

**シニア検定 / ケアセラピスト / ビューティケアセラピストはeラーニングで受講できます。詳しくは [グローリア 21](#) [検索](#) [トップページ](#)をご覧ください。**

(株) グローリア 21 日本ケアセラピスト協会 / 一般社団法人 日本シニア検定協会 本部長  
〒454-0927 名古屋市市中川区打中 2-105

お問合せ Tel : 052-354-6211 Mail : [gl21@asai-clinic.co.jp](mailto:gl21@asai-clinic.co.jp)